CS-1762/CS-1764

日本語版ユーザーマニュアル

本ドキュメントについて

本書はATENジャパン株式会社において、CS-1762/CS-1764取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATENジャパン株式会社
技術サポート部
TEL :03-5323-7178
MAIL :support@atenjapan.jp

2008年6月17日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元であるATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・ 製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。 また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。
また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応となりますのでご留意ください。

◆ 使用上の誤りによるもの
◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
◆ 納品日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障または破損したもの
◆ 日本国外で使用されたもの
◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証のお申し込み手順】

弊社の製品保証規定に従い保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。
(1)不具合の確認……製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口に連絡の上、製品の状態を確認してください。 この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。
(2)本規定に基づく製品保証のご依頼……(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『製品納品日が証明できる書類』を用意して、製品を購入された販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。
(3)製品の発送……不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品／液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～3 年	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～2 年	無償修理
	2 年以上	有償修理※2

※1…製品納品日から30 日以内に弊社または販売店に申告を頂いた不具合を初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。
※2…有償修理の金額は別途お問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類はDOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL（生産終了）が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。
※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された場合に適用されます。それ以前に購入された製品については、1年間の保証となります。

【補足】

・本規定はATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
・ケーブル類・電源アダプタは初期不良対応に準じます。
・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。
・製品保証を受けるにあたり、製品の納品日が証明できない場合は製品のシリアルナンバーから判別した製造日を起算日とします。ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、全て有償修理とさせていただきます。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社　営業推進部 TEL：03-5323-7170 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社　技術サポート部 TEL　：03-5323-7178 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

FCC 8
安全にお使い頂くために 9
同梱品 11
本マニュアルについて 12
マニュアル表記について 13
第 1 章　はじめに 14
製品概要 14
特長 16
必要システム構成 17
コンソール 17
コンピュータ 17
ケーブル 17
製品各部名称 19
フロントパネル 19
リアパネル 22
第 2 章　ハードウェアセットアップ 24
セットアップの前に 24
ケーブル接続 24
第 3 章　基本操作 27
手動によるポート切替 27
ホットプラグ 27
終了と再起動 28
ポート番号の割り振り 28
第 4 章　ホットキー操作 29
ホットキーによるポートアクセス 29
ポート切替（サイクル切替） 30
ポート切替（ダイレクト切替） 31
オートスキャン 32
ホットキーセッティングモード 33
ホットキーセッティングモードの起動 33
ホットキーセッティングモード起動キーの変更 34
ポート切替キーの変更 34
キーボード設定 35

ホットキー設定の表示 36
USB リセット 36
ビープ音 オン/オフ 36
ポート切替無効化 37
ファームウェアアップグレードモード 37
デフォルト設定の復元 37
ホットキーセッティングモード 一覧 38
Mac キーボードエミュレーション 39
Sun キーボードエミュレーション 40
第 5 章 ファームウェアアップグレードユーティリティ 41
アップグレードの前に 41
アップグレード開始 43
アップグレード成功 46
アップグレード失敗 47
付録 48
製品仕様 48
トラブルシューティング 50
ホットキー初期設定一覧 51

FCC

この装置はFCC（米国連邦通信委員会）規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

安全にお使い頂くために

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面（台車、簡易的なスタンドやテーブル等）を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせて適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置（UPS）をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱ってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ホットプラグ対応パワーサプライの取り付け、または取り外しする場合は、以下の注意事項に従ってください。
  - 電源ケーブルを接続する前に、パワーサプライのセットアップを行ってください。
  - パワーサプライを取り外す前に電源ケーブルを抜いてください。
  - お使いのシステムが複数のパワーサプライをお使いである場合、パワーサプライからすべての電源ケーブルを抜いてお使いのシステムから切り離してください。
- 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。（修理が必要です）
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

同梱品

CS-1762/CS-1764 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

CS-1762

◆　CS-1762　KVM スイッチ×1
◆　KVM ケーブル（2L-7D02U：1.2m）　×2
◆　ファームウェアアップグレードケーブル× 1
◆　電源アダプタ× 1
◆　英語版ユーザーマニュアル× 1

CS-1764

◆　CS-1764　KVM スイッチ×1
◆　KVM ケーブル（2L-7D02U：1.2m）　×4
◆　ファームウェアアップグレードケーブル× 1
◆　電源アダプタ× 1
◆　英語版ユーザーマニュアル× 1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

　このユーザーマニュアルは、CS-1762/CS-1764 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。
マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章　**はじめに**：CS-1762/CS-1764 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明しています。

第2章　**ハードウェアセットアップ**：CS-1762/CS-1764 セットアップ方法および基本操作について説明しています。

第3章　**基本操作**：CS-1762/CS-1764 の機能概要および操作方法について説明しています。

第4章　**ホットキー操作**：CS-1762/CS-1764 のホットキーの概要、および操作方法について説明しています。

第5章　**ファームウェアアップグレードユーティリティ**：CS-1762/CS-1764 のファームウェアの最新版のアップグレード方法について説明しています。

付録　製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

マニュアル表記について

[　　]	入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。
1.	番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。
◆	◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。
→	矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。
	重要な情報を示しています。

第 1 章

はじめに

製品概要

Master View ™CS-1762/CS-1764 は 2 ポート/4 ポートのコンピュータ切替機能に加え、2 ポート USB ハブを搭載、さらに DVI インターフェースに対応したことにより、従来の KVM スイッチとは一線を画した画期的な商品です。

ユーザーは 1 組のコンソールを使用して、スイッチに接続された 2 台または 4 台のコンピュータを切り替えて使用することができます。また 2 ポート USB ハブを搭載しており、ハブに接続されたデバイスにはスイッチに接続した各コンピュータから自由にアクセスすることが可能、つまり CS-1762/CS-1764 を経由して、2 台の USB デバイスを 2 台または 4 台のコンピュータで共有することができます。

この USB ハブ機能は、KVM コントロールと独立切替が可能です。あるコンピュータで USB デバイスを使用中であっても、KVM コントロールのみを他のポートに接続されたコンピュータへ切り替えることができます。このような機能によって、コンピュータ毎に USB ハブを購入したり、プリンタサーバ、モデムスプリッターといった USB 共有デバイスを購入したりする必要がなくなります。

CS-1762/CS-1764 は従来のモデルに改良を加え、モニタには DVI（Digital Visual Interface）コネクタを、また、キーボード・マウスのデータ転送は高速で信頼性の高い USB コネクタを搭載しております。DVI はフラットパネルディスプレイ、プロジェクター、プラズマディスプレイ、デジタル放送対応 TV、セットトップボックス等のデジタルビデオ入力、およびアナログモニタやアナログ TV 等のアナログビデオ入力の両方に対応しております。

CS-1762/CS-1764 はマイクロフォン・スピーカーのオーディオ機能にも対応しています。接続されたそれぞれのコンピュータへ、マイク入力/スピーカー出力が可能ですので、1 組のスピーカーを CS-1762/CS-1764 に接続するだけで、本製品に接続されたどのコンピュータのオーディオ機能もお使いいただくことができます。USB 周辺機器と同様、オーディオ機能のポート切替も KVM スイッチのポート切替と独立して操作することが可能です。

CS-1762/CS-1764 のセットアップはケーブルをそれぞれの適切なポートに接続するだけですので、非常に簡単で時間もかかりません。ソフトウェアやドライバのインストールも不要、互換性の問題に悩まされることもありません。CS-1762/CS-1764 はキーボードのエミュレーション可能なので、キーマッピングが異なる複数のプラットフォーム(PC/AT 互換機,Mac,Sun,etc)を操作することが可能

です。コンピュータポート切替は フロントパネルにあるポート選択ボタンによる切替、キーボードからのホットキー入力による切替といった便利な方法をご用意しております。

セットアップに割かれる時間の短縮と費用の削減に関して、CS-1762/CS-1764 の右に出る製品はないと自負しております。接続されたすべてのコンピュータに 1 組のコンソールでアクセスして操作できるため、以下のような効果を得ることができます。

1) それぞれのコンピュータにキーボード、マウス、モニタを購入する費用を削減
2) 余分なスペースを取らず、スペースの有効利用が可能
3) 省電力
4) コンピュータを操作するたびに移動しなければならないという煩雑さの解消

特長

- ◆ デュアルファンクション KVMP-USB スイッチ
- ◆ 1 台のコンソールで 2 台（CS-1762）/4 台（CS-1764）のコンピュータを切替操作、USB デバイスを 2 台接続可能
- ◆ KVM/USB デバイス/オーディオは独立切替が可能
- ◆ USB 1.1 準拠－転送レート 1.5M/12Mbps
- ◆ DVI-D、DVI-I に完全対応
- ◆ ポート切替方法－本体フロントパネルのプッシュボタン、ホットキー
- ◆ LED ランプ表示により各コンピュータの状態が一目瞭然
- ◆ オートスキャン機能搭載
- ◆ キーボードエミュレート機能により、キーボード未接続でコンピュータを起動した際に発生するブートエラーを回避
- ◆ VGA 解像度－最大 1,920×1,200@60Hz、DDC2B 準拠
- ◆ ソフトウェア不要の簡単セットアップ
- ◆ ホットプラグ対応
- ◆ PC 互換キーボードに加え、キーマッピングのエミュレート機能により、Mac、Sun の各キーボードが利用可能
- ◆ 対応 OS－Windows 98SE/ME/2000/XP/2003、MacOS 9/X、Red Hat Linux 7/8/9、Fedora Core 1/2/3/4、Novell NetWare6.0、Sun Microsystems Solaris 8/9/10、FreeBSD 5.2.1

必要システム構成

コンソール

◆ 接続するコンピュータの解像度に適した DVI 対応モニタ
◆ USB キーボード
◆ USB マウス
◆ スピーカー/マイクロフォン

コンピュータ

接続するコンピュータが以下の装置を搭載している必要があります。

◆ DVI 出力可能なビデオカード

注意:	モニタの表示画質は DVI ビデオカードの品質に左右されます。

◆ USB タイプ A ポート
◆ USB タイプ A ポートまたはミニ DIN 6 ピン (PS/2)のキーボード・マウスポート

ケーブル

CS-1762/CS-1764 とコンピュータを接続する際には専用ケーブルを使用します。この専用 KVM ケーブルは CS-1762 には 2 本、CS-1764 には 4 本それぞれ同梱されております。

注意:	モニタの表示画質はケーブルの品質と長さに左右されます。同梱されているケーブル以外のものをご利用になる際には、販売店までお問い合わせの上、製品に対応したケーブルをお求めください。

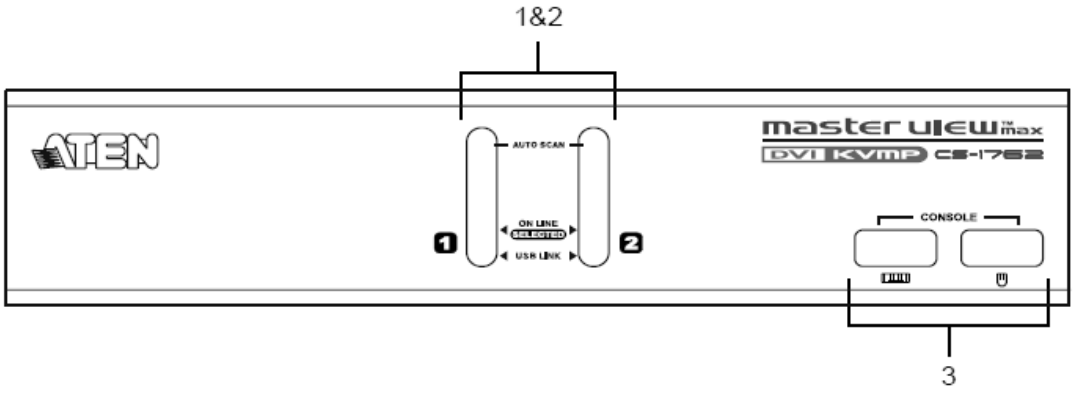
規格外のケーブルを使用すると、接続機器を破損することや、機器の性能を低下させることがあります。理想的な状態でデータ転送を行うためにも、またシステムのレイアウトを単純化させるためにも、以下の CS-1762/CS-1764 対応 CS ケーブルをご使用になることを推奨いたします。

製 品 画 像	機　　能		型番(ケーブル長)
	USB KVM ケーブル(製品同梱ケーブル)		2L-7D02U(1.8m)
	スイッチ側	DVI-D オス ×1 USB タイプ B ×1 ミニオーディオプラグ ×2	
	コンピュータ側	DVI-D オス ×1 USB タイプ A ×1 ミニオーディオプラグ ×2	

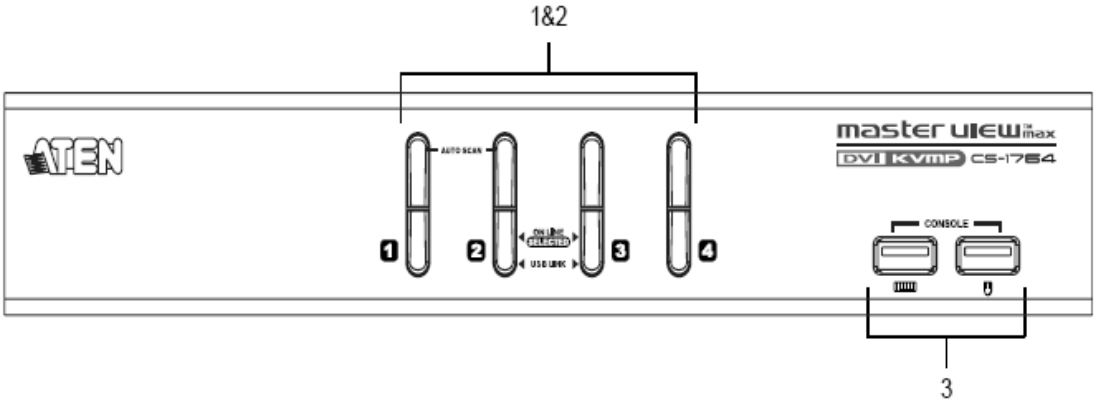
製品各部名称

フロントパネル

CS-1762



CS-1764



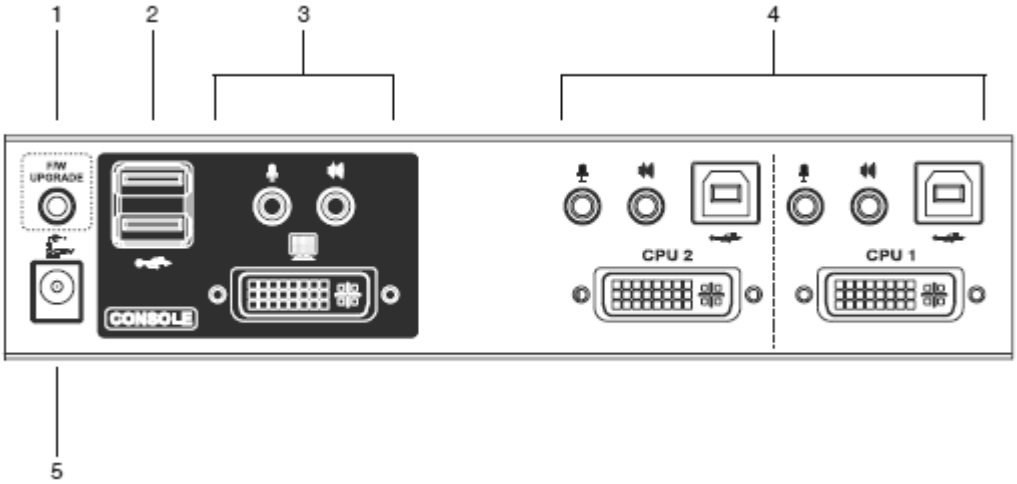
No.	名称	説明
1	ポート選択スイッチ	CS-1762/CS-1764 は、KVM コントロール/USB ハブ/オーディオがそれぞれ独立切替可能です。ボタンを押している時間によって操作が区別されています。 ◆ ポート選択ボタンを 2 秒以上押したままにすると、KVM コントロール/USB ハブ/オーディオすべての選択が対応するポートに接続されたコンピュータに切り替わります。 ◆ ポート選択ボタンを押して、2 秒以内に離すと KVM コントロールのみが対応するポートに接続されたコンピュータに切り替わります。 ◆ ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒以上押したままにするとオートスキャンモードを開始します。（詳細は p.33）

（表は次のページに続きます）

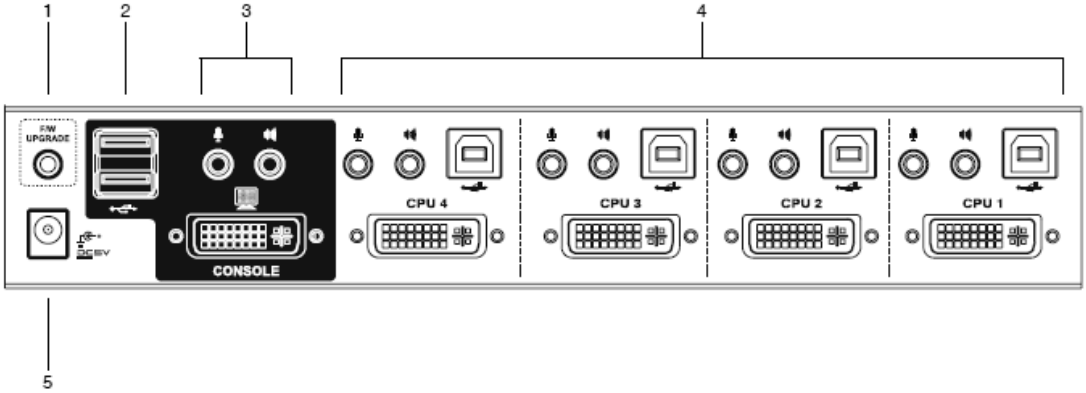
No.	名称	説明
2	ポート LED	ポート LED はポート選択ボタンに内蔵されています。上部の LED が KVM ポート LED、下部の LED が USB LED です。 KVM ポート LED ◆ LED が暗いオレンジに点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータの電源がオンであることを示します。 ◆ LED が明るいオレンジに点灯しているときは、対応するポートが KVM コントロールで選択されていることを示します。 ◆ LED が点滅しているときは、対応するポートに接続されたオートスキャンモードでアクセスされていることを示します。 USB LED ◆ LED が暗いグリーンに点灯しているときは、USB ケーブルがコンピュータに接続されていることを示します。LED が点灯していないときは、USB ケーブルが接続されてないことを示します。 ◆ LED が明るいグリーンに点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータが、USB ハブに接続されたデバイスにアクセスしていることを示します。
3	コンソール USB ポート	お使いの USB キーボード・マウスを該当ポートにそれぞれ接続します。

リアパネル

CS-1762



CS-1764



No.	名称	説明
1	ファームウェアアップグレードポート(RJ-11 コネクタ)	同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用し、最新版のファームウェアパッケージを保存した管理者のコンピュータと接続します。ファームウェアアップグレードの詳細に関しては p.37 をご参照ください。
2	USB ハブポート	プリンタ、スキャナ等の USB デバイスを2台まで接続することができます。(USB1.1 準拠)
3	コンソールポートセクション	コンソールで使用する DVI モニタ、スピーカー、マイクロフォンのケーブルをこちらに接続します。
4	CPU ポートセクション	対応する KVM ケーブルを使用してスイッチとコンピュータを接続します。CPU ポートはマイクロフォンジャック、スピーカージャック、および KVM 用 SPDH ポートから構成されています。
5	電源ジャック	電源ケーブルをここに接続します。

第 2 章

ハードウェアセットアップ

セットアップの前に

1. 機器の設置に際し重要な情報を p.9 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. コンピュータやデバイスへのダメージを避けるために、接続されているすべてのデバイスが正しくアースされていることを確認してください。

ケーブル接続

CS-1762/CS-1764 のセットアップは次ページの図（図中の番号は作業手順の順番に対応）を参考にしながら、以下の手順に従い作業を進めてください。

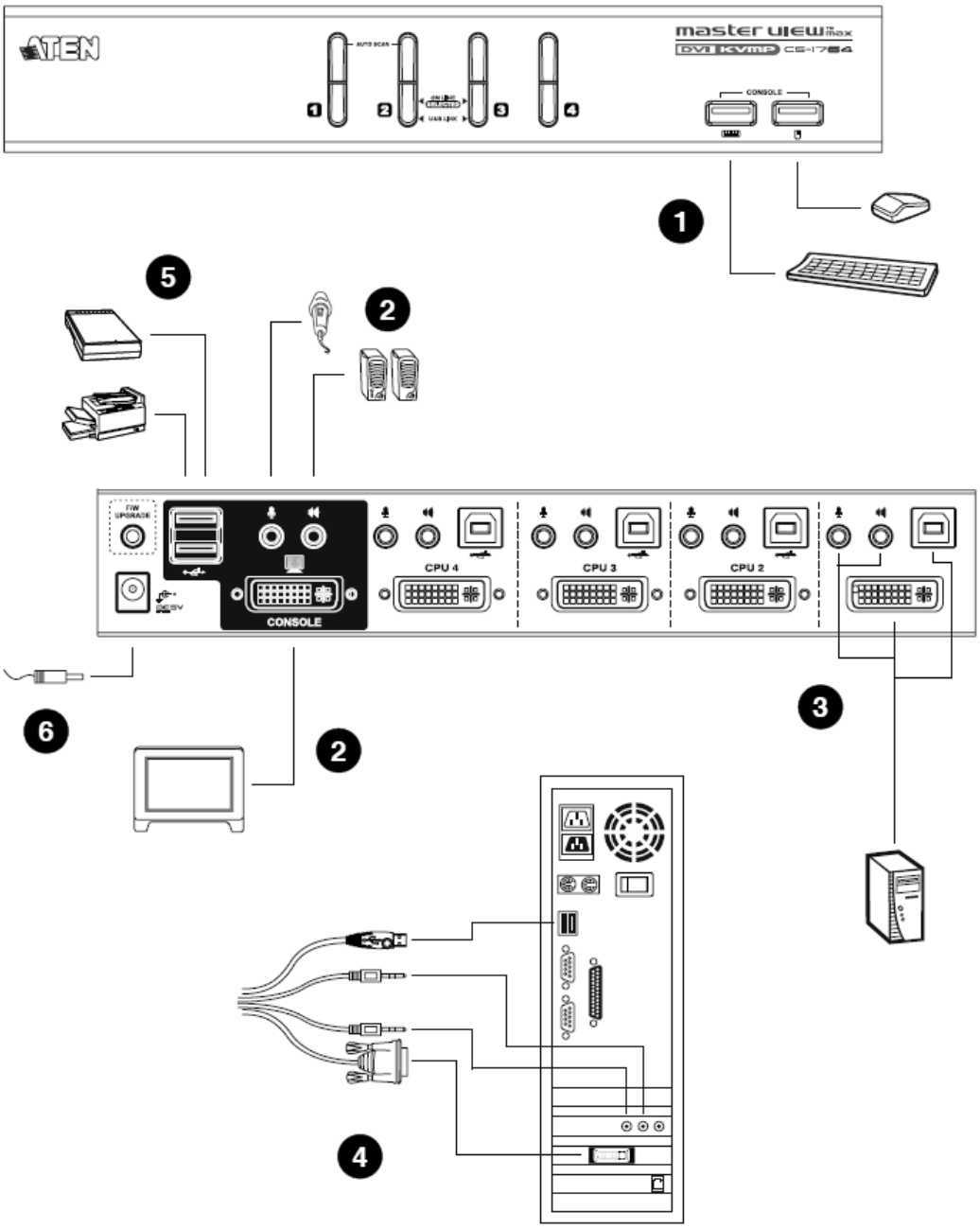
1. お使いになる USB キーボード・USB マウスをフロントパネルのコンソール USB ポートに接続してください。

2. お使いになるスピーカー、マイクロフォン、DVI モニタのケーブルをリアパネルのコンソールポートに接続してください。

3. 同梱の KVM ケーブルセットの DVI、USB タイプ B コネクタ、ミニオーディオプラグをリアパネルのコンピュータポートに接続します。

注意： CS-1762/CS-1764 に KVM ケーブルを接続する場合は、DVI、USB、マイクロフォン、スピーカーの各コネクタをそれぞれ同一番号の CPU ポートに接続してください。

4. KVM ケーブルの別の一端をコンピュータに接続します。接続するコンピュータそれぞれに対し 3.～4. のステップを繰り返してください。
5. USB ハブに接続するデバイスを接続してください。
6. 電源アダプタをリアパネルの電源ジャックに接続してから、AC 電源コンセントに接続してください。
7. 接続したコンピュータの電源をオンにしてください。


ATEN
master view
DVI KVMP
CONSOLE
CPU 4
CPU 3
CPU 2
CONSOLE
1
2
3
4
5
6

第 3 章

基本操作

手動によるポート切替

CS-1762/CS-1764 のポート切替は、フロントパネルの切替ボタンを押す、または便利なホットキー操作によって行います。ホットキー操作については第 4 章で説明します。
ボタンを直接押してポートを切り替えるには以下の作業を行ってください。

- ◆ フロントパネルのポート選択ボタンを押してすぐに離すと、KVM コントロールのみが押したボタンに対応するポートに切り替わります。LED 表示は押した KVM コントロールのグリーンのみが点灯します。この操作では USB デバイスとオーディオの選択は切り替わりません。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 秒以上押したままにすると、KVM コントロール・USB デバイス・オーディオすべての選択が対応するポートに切り替わります。LED 表示も押したポート側がすべて点灯します。
- ◆ ポート選択ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒以上押したままにするとオートスキャンモードになります。詳細は p.32 をご参照ください。
- ◆ オートスキャンモード中に任意のポート選択ボタンを押すとオートスキャンを中止し、そのポートに KVM コントロールを切り替えます。

ホットプラグ

CS-1762/CS-1764 は USB ホットプラグに対応しています。コンポーネントはシャットダウンせずにスイッチへの接続・取り外しが可能です。

終了と再起動

CS-1762/CS-1764 の電源を切る必要が場合は、再接続の前に以下の手順に従ってください。

1. CS-1762/CS-1764 に接続している全てのコンピュータをシャットダウンしてください。

注意：	キーボード起動機能があるコンピュータが CS-1762/CS-1764 に接続されている場合、単にコンピュータをシャットダウンしただけでは、スイッチ側でコンピュータに電源が入っていると認識されてしまいます。お手数ですが、スイッチをシャットダウンする前にそのコンピュータの電源アダプタを抜いていただくようお願いいたします。

2. スイッチに接続した電源アダプタを抜いてください。
3. スイッチへの電源アダプタ再接続は 10 秒以上待ってから行ってください。
4. スイッチに電源が供給されたのを確認した後にコンピュータの電源を入れてください。

ポート番号の割り振り

CS-1762/CS-1764 のコンピュータポートにはポート番号が割り当てられています。（CS-1762 には 1～2 を、CS-1764 には 1～4 をそれぞれ付番）対応するポート番号はリアパネル コンピュータポートに記されています。（p.20 参照）

コンピュータのポート ID は、そのコンピュータを接続したポート番号に対応します。例えばポート 3 に接続されたコンピュータのポート ID は 3 になります。

ポートID はKVM、USB、オーディオのコントロールをホットキーによって切り替えるときに使用します。（詳細は p.31 参照）

第 4 章

ホットキー操作

CS-1762/CS-1764 は、多彩で便利なホットキー機能を搭載しており、操作と設定はすべてキーボードから行います。KVM・USB・オーディオの独立切替もホットキーで操作可能です。

ホットキーによるポートアクセス

ホットキーによるポート切替操作は、すべて[Scroll Lock]キー2 度押しから開始します。[Scroll Lock]キー2 度押し後に、更に特定のキー入力をすることによってホットキーコマンドを実行します。

注意：	[Scroll Lock]キーが他のアプリケーション操作と競合を起こす場合のために、ホットキーセッティングモードで[Ctrl]キーに設定変更することが可能です。詳細はp.34 をご参照ください。

ポート切替（サイクル切替）

ホットキー	機 能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に次のポートに切替えます。切り替え順は以下のとおりです。 CS-1762：1→2→1→2→…… CS-1764：1→2→3→4→1→2→…… **注意：** この操作を行うと、USB ハブやオーディオが現在のコンピュータで使用中であっても強制的に次のポートに切り替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを次のポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	USB ハブのみを次のポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオのみを次のポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。

ポート切替（ダイレクト切替）

ホットキー	機 能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に指定したポートに切り替えます。 注意： この操作を行うと、USB ハブやオーディオが現在のコンピュータで使用中であっても強制的に指定したポートに切り替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを指定したポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	USB ハブのみを指定したポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	オーディオのみを指定したポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U] [Enter]	KVM コントロールおよび USB ハブを指定したポートに切り替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [Enter]	KVM コントロールおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。KVM コントロールは現在のポートのままです。

注意： 表中の n はコンピュータ番号(1～4 を使用。詳細は p.28 のポート番号の割り振りを参照)を表しています。上記のホットキーを入力する際には、n と記載されているところに対象となるポート ID を適宜入力してください。

オートスキャン

CS-1762/CS-1764 のオートスキャン機能は、一定間隔で自動的に KVM コントロールを切り替えます。この機能によって、手動で操作しなくても接続されたすべてのコンピュータの状態を監視できます。ホットキー操作については以下の表をご参照ください。

ホットキー	機 能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが 5 秒間隔で切り替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが指定した間隔(1～99 秒)で切り替わります。

注意:

1. 表中の n は CS-1762/CS-1764 が各ポートをスキャンする時間間隔(秒)を表しています。上記のホットキーを入力する際には、n と記載されているところに設定したいスキャンインターバルの秒数(1～99)を適宜入力してください。
2. オートスキャンが有効になっている場合、通常のキーボード・マウスの機能はサスペンドされ、オートスキャンモード専用のキー入力とマウスのクリックのみが有効になります。
3. オートスキャンモードでは、モニタの選択は切り替わりますが、キーボード、マウス、USB はオートスキャンモードが開始されたときのポートに留まったままで、切り替わることはありません。

ホットキーセッティングモード

ホットキーセッティングモードでは CS-1762/CS-1764 の設定を行います。すべての操作はホットキーセッティングモードを有効にしてから行います。

ホットキーセッティングモードの起動

ホットキーセッティングモードは以下の手順で起動してください。

1. [Num Lock]キーを押したままにします
2. [-]キーを押して、すぐに離します
3. [Num Lock]キーを離します

注意:	1.	ホットキーセッティングモードの起動は他のキー操作でも可能です。下記をご参照ください。
	2.	[-]キーを押している時間は 0.5 秒以内になるようにしてください。そうしないと操作がキャンセルされます。

ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの Caps Lock、Scroll Lock LED が交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了すると LED は通常の状態に戻ります。

またホットキーセッティングモード中は、HSM で有効な操作以外、通常のキーボード・マウス入力はすべて無効になります。

ホットキーセッティングモードでの操作は、コマンド実行後にセッティングモードが解除されるものと、継続するものがあります。手動でセッティングモードを終了するには、[Esc]キーまたは[Space]キーを押してください。

ホットキーセッティングモード起動キーの変更

デフォルトのホットキーセッティングモード起動キー入力（[Num Lock]＋[-]）がコンピュータで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合のために、[Ctrl]＋[F12]という入力も可能です。
設定変更には以下の操作を行ってください。

1. デフォルトの入力でホットキーセッティングモードを有効にします。（p.33 参照）
2. [H]キーを入力します。

この操作によって、ホットキーセッティングモードで使用する[Num Lock]キーが[Ctrl]キーに、[-]キーが[F12]キーに変更されます。

注意： この操作は[Num Lock]＋[-]、[Ctrl]＋[F12]の組み合わせを交互に切替えて設定します。デフォルトの[Num Lock]＋[-]に戻す場合は、もう一度この操作を行ってください。

ポート切替キーの変更

ポート切替に使用する[Scroll Lock]キーがコンピュータで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合のために、[Ctrl]キーを使用することができます。設定変更には以下の操作を行ってください。

1. デフォルトの入力でホットキーセッティングモードを有効にします。（p.33 参照）
2. [T]キーを入力します。

この操作によって、ポート切替で使用する[Scroll Lock]キーが[Ctrl]キーに変更されます。

注意： この操作は[Scroll Lock]、[Ctrl]を交互に切替えて設定します。デフォルトの[Scroll Lock]に戻す場合は、もう一度この操作を行ってください。

キーボード設定

CS-1762/CS-1764 に接続するキーボードについて、キーマッピングはデフォルトで PC 互換プラットフォーム（Win、Linux）に設定されています。Mac キーボードを接続する場合は、以下の操作で設定変更を行ってください。

1. KVM コントロールを目的のポートに合わせます。
2. ホットキーセッティングモードを有効にします。（p.33 参照）
3. プラットフォームに合わせた設定のファンクションキーを入力します（下表参照）。

ファンクションキー入力後、ホットキーセッティングモードは自動的に終了します。

ファンクションキー	機 能
[F2]	Mac 対応に設定します。Mac キーボードのエミュレーションの詳細に関しては p.39 をご参照ください。
[F3]	Sun 対応に設定します。Sun キーボードのエミュレーションの詳細に関しては p.40 をご参照ください。
[F10]	キーボードエミュレーションを無効にします。例えば、コンソールに Mac キーボードを接続し、CS-1762/CS-1764 に接続された Mac コンピュータにアクセスするなど、エミュレーションが不要な場合にご利用いただけます。

ホットキー設定の表示

現在のホットキー設定を表示するには、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.33 参照)
2. [F4]ファンクションキーを入力します。
3. クリップボードに現在のホットキー設定情報がコピーされていますので、テキストエディタ等を開いてペーストしてください。

USB リセット

USB デバイスがコントロールを失いリセットする必要がある場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.33 参照)
2. [F5]ファンクションキーを入力します。

ビープ音 オン/オフ

ポート切替時に鳴るビープ音を有効または無効にするには以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.33 参照)
2. [B]キーを入力します。

この操作を行うと、画面に *Beeper ON* または *Beeper OFF* が 1 秒間表示されます。メッセージが消えると共にホットキーセッティングモードも終了します。

ポート切替無効化

ポート切替に使用する[Scroll Lock]キー2 度押し（または[Ctrl]キー2 度押し）を無効にしたい場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.33 参照)
2. [X] [Enter]を入力します。

注意： 無効にしたキー入力を元に戻す場合にはもう一度この操作を行ってください。

ファームウェアアップグレードモード

CS-1762/1764 のファームウェアアップグレードを行う場合は以下の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.33 参照)
2. キーボードで *upgrade* と入力します。
3. [Enter]を入力します。

この操作を行うとフロントパネルの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。ファームウェアアップグレードモードを終了する場合は、スイッチの電源をオフにしてください。

デフォルト設定の復元

CS-1762/CS-1764 のホットキー設定をすべてデフォルトの状態に戻すには、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.33 参照)
2. [R] [Enter]を入力します。

この操作によりすべての設定変更がリセットされ、デフォルトの状態に戻ります。詳細は p.51 を参照してください。

ホットキーセッティングモード 一覧

ホットキーセッティングモード(p.33 参照)を有効にした後、追加で入力するキーとその機能は以下のようになっています。

追加キー入力	機 能
[H]	ホットキーセッティングモード起動キーを変更します。
[T]	ポート切替キーを変更します。
[F2]	キーボードマッピングを Mac 対応に設定します。
[F10]	キーボード設定を自動検出(PC 互換)します。
[F4]	現在のホットキー設定をテキストエディタで表示します。
[F5]	USB をリセットします。
[B]	ビープ音のオン/オフを切り替えます。
[X] [Enter]	ポート切替キーの有効/無効にします。
[R] [Enter]	デフォルト設定を復元します。
upgrade [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します。

Mac キーボードエミュレーション

コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Mac キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

注意: 入力の際は同時に押すのではなく、[Ctrl]もしくは[Alt]キーを押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
[Windows]	⌘
[Ctrl] [1]	Mute
[Ctrl] [2]	V_DN
[Ctrl] [3]	V_UP
[Ctrl] [4]	⏏
[Alt]	左 Alt または右 Alt(オプション)
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]*	F14
[Desktop Menu]	=
[Enter]	Return
[Back Space]	Delete
[Ins]	Help
[Ctrl] [Win]	F15

注意: *の箇所について、 Mac キーボードエミュレーションで使用する場合、ポート切替キーは代替キー(p.34 参照)の[Ctrl]キーを使用されることを推奨します。

Sun キーボードエミュレーション

コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Sun キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

注意: 入力の際は同時に押すのではなく、[Ctrl]もしくは[Alt]キーを押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
	Compose
	Meta
[Ctrl] [H]	Help
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	-
[Ctrl] [3]	+
[Ctrl] [4]	

第 5 章

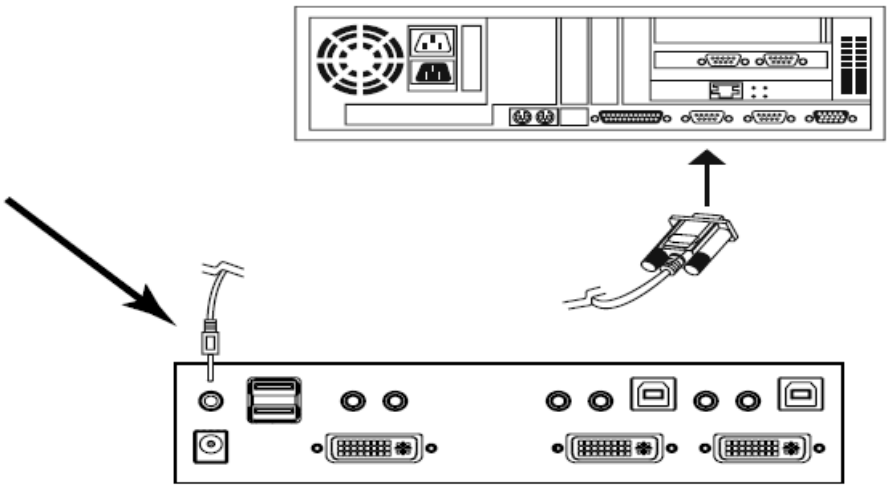
ファームウェア アップグレード ユーティリティ

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティは、スムーズかつ簡単な操作で KVM スイッチのファームウェアをアップグレードすることができます。
ファームウェアアップグレードパッケージはデバイス別に用意されています。新しいファームウェアパッケージは弊社 web サイトで公開されます。機器を最新の状態に保つために、定期的に弊社 web サイトをご覧ください。http://www.aten.com/download/download.php

アップグレードの前に

ファームウェアアップグレードの前に以下の手順に従って準備を行ってください。

1. KVM スイッチに接続されているコンピュータとは別に、インターネット接続可能なコンピュータを用意してください。弊社 web サイトにアクセスして製品型番で検索し、ファームウェアのリストから CS-1762/CS-1764 の最新版パッケージを選択してください。
2. 最新版パッケージをダウンロードし、コンピュータの任意のディレクトリに保存してください。
3. 同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用して、パッケージを保存したコンピュータの COM ポートとスイッチ リアパネルのファームウェアアップグレードポートを接続します。



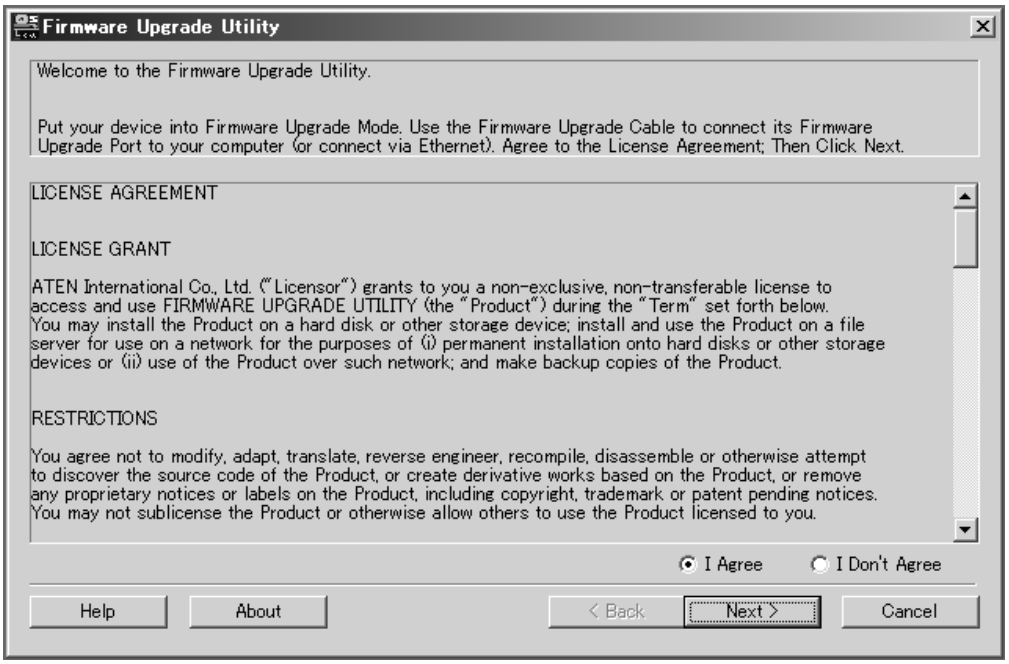
4. スイッチに接続されたコンピュータをシャットダウンします。
5. スイッチをファームウェアアップグレードモードにします（詳細は p.37）。 フロントパネルの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。

これでアップグレードの準備が整いました。

アップグレード開始

以下の手順に従ってアップグレード作業を進めてください。

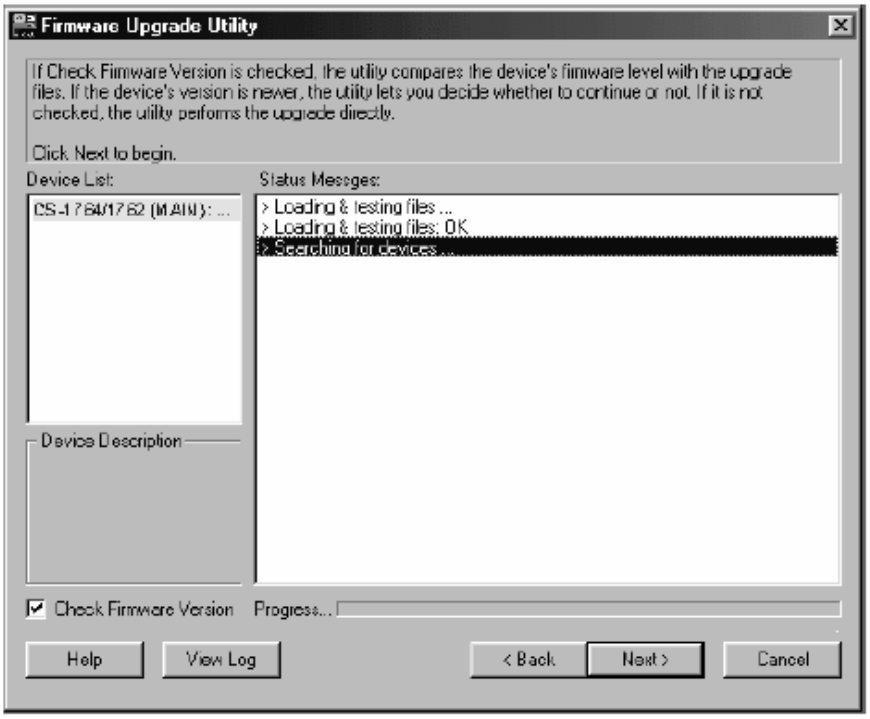
1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージをダブルクリックまたはコマンドラインでフルパスを入力して実行します。以下のようなライセンス認証確認画面が表示されます。



注意：	実際に表示される確認画面は、このスクリーンショットと異なる場合があります。

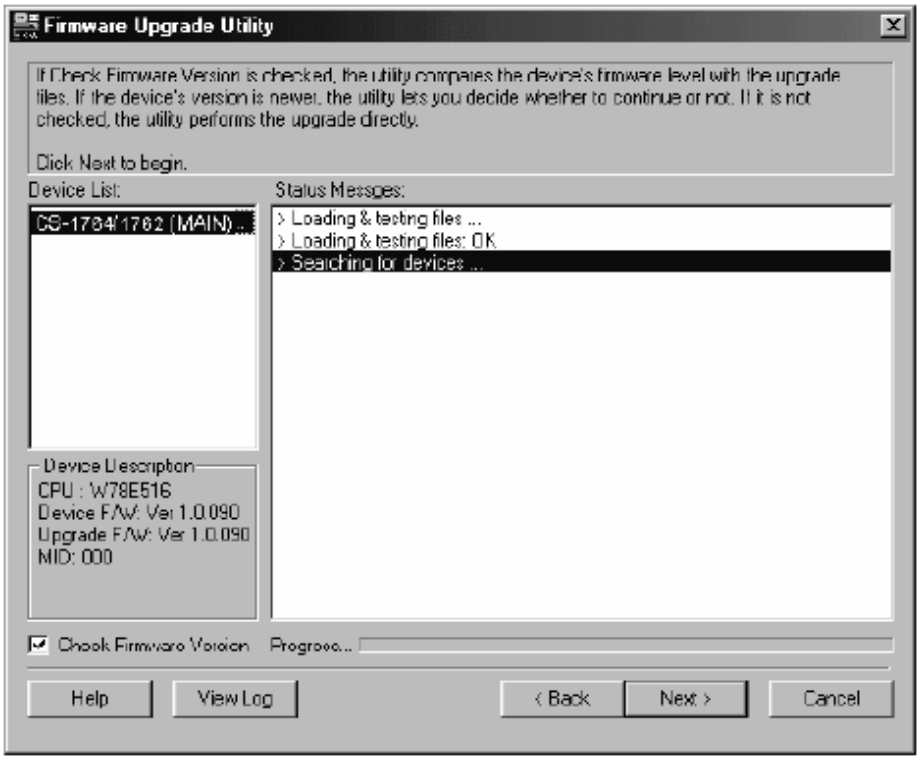
2. ライセンス規約に同意したら「I Agree」ラジオボタンをオンにして、「Next」ボタンを押して次に進んでください。

3. 「Next」を押すとファームウェアアップグレードユーティリティ メイン画面が表示されます。
Device List フィールドに、アップグレード可能なデバイスが表示されます。

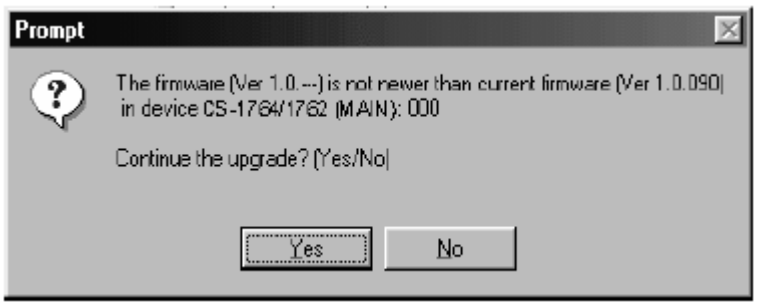


ファームウェアアップグレードユーティリティは、お使いの CS-1762/CS-1764 の環境を自動検出し、そのパッケージでアップグレード可能なデバイスの一覧が「Device List」フィールドに表示されます。

4. 「Device List」フィールドで選択されたデバイスの詳細が、画面左下の「Device Description」パネルに表示されます。



5. デバイスを選択後、「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行します。

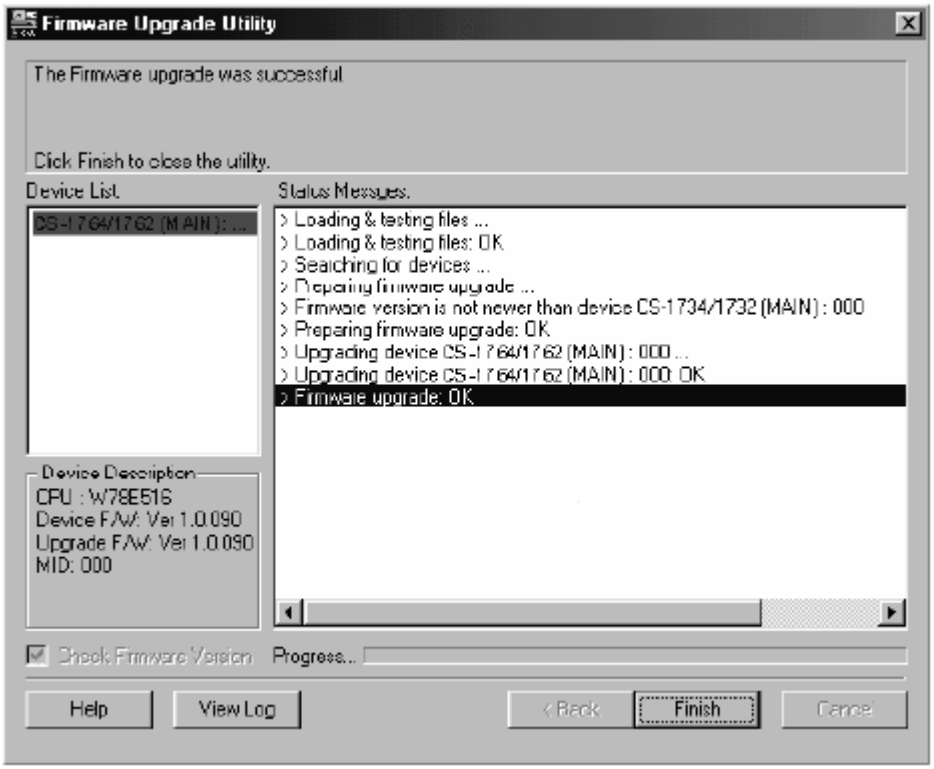


ここで「Check Firmware Version」にチェックが入っている場合、ユーティリティは現在のファームウェアバージョンとアップグレードパッケージのバージョンを比較します。もし現在使用のバージョンがアップグレードパッケージよりも高い場合は、このようなダイアログボックスが表示され、アップグレード実行継続/中止の確認を行います。

「Check Firmware Version」にチェックが入っていない場合、ユーティリティはバージョン比較をせずにアップグレードを行います。アップグレードの進捗状況はステータスフィールドとプログレスバーで表示されます。

アップグレード成功

アップグレード完了後、アップグレード成功のメッセージが表示されます。



「Finish」ボタンを押してファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。
ユーティリティ終了後、スイッチは自動的にファームウェアアップグレードモードを終了しますので、接続しているコンピュータの電源をオンにしてください。

アップグレード失敗

アップグレード成功画面が表示されない場合は、アップグレードが正常に終了しなかったことを意味します。もう一度最初のステップからアップグレード作業をやり直してください。

付録

製品仕様

機能		CS-1762	CS-1764
コンピュータ接続数		2	4
コンソール接続数		1	
コンピュータ側対応インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
コンソール側対応インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
ポート選択方法		プッシュボタン、ホットキー	
コンピュータ側コネクタ	キーボード	USB タイプ B メス×2	USB タイプ B メス×4
	マウス		
	モニタ	DVI-I 29 ピンメス×2	DVI-I29 ピンメス×4
	スピーカー	ミニオーディオジャック×2	ミニオーディオジャック×4
	マイク	ミニオーディオジャック×2	ミニオーディオジャック×4
コンソール側コネクタ	キーボード	USB タイプ A×1	
	マウス	USB タイプ A×1	
	モニタ	DVI-I 29 ピンメス×1	
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1	
	マイク	ミニオーディオジャック×1	
USB 1.1 ハブ		USB タイプ A メス×2	
ファームウェアアップグレードポート		ミニオーディオジャック×1	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
LED	ポート選択	オレンジ×2	オレンジ×4
	USB リンク	グリーン×2	グリーン×4
キーボード・マウスエミュレーション		USB	

（表は次のページに続きます）

機能		CS-1762	CS-1764
スキャンインターバル		1～99 秒(ユーザー設定) / 5 秒(デフォルト)	
電源仕様(アダプタ)		型番:0AD8-0005-261G 入力:AC100V～240V 50～60Hz 出力:DC5V 2.6A	
消費電力		5.1W	7.9W
VGA 解像度		最大 1,920×1,200 DDC2B 準拠	
動作環境	動作温度	0～50℃	
	保管温度	-20℃～60℃	
	湿度	0～80%RH 結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		800g	1000g
サイズ(W×D×H)		210×85×55mm	270×85×55mm
同梱品		2L-7D02U(1.8m) DVI-D ケーブル×2 電源アダプタ×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1 ファームウェア アップグレード ケーブル×1 PS/2→USB 変換ケーブル×1	2L-7D02U(1.8m) DVI-D ケーブル×4 電源アダプタ×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1 ファームウェア アップグレード ケーブル×1 PS/2→USB 変換ケーブル×1

トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処
製品の動作に異常が見られる	供給電力が不十分である可能性があります。	電源アダプタをお使いでない場合は、電源アダプタを使用してください。また、電源アダプタをお使いの場合は、仕様にあったアダプタ(DC5V)であるか、製品にアダプタがきちんと接続されているかどうかをもう一度お確かめください。
	キーボード/マウスのリセットが必要です。	キーボード/マウスのケーブルを一度抜いて接続し直してください。
	キーボード/マウスのケーブルが適切に接続されていない可能性があります。	各ケーブルが適切に接続されているか確認してください。
	KVM スイッチのリセットが必要です。	接続したすべてのデバイス・KVM スイッチの電源をオフにしてください。オフにして 5 秒以上待ってから、再起動してください。詳細は p.24 をご参照ください。
USB ハブに接続したデバイスが反応しない	USB リセットが必要です。	リアパネルに接続した USB デバイスのコネクタを接続し直します。
		USB リセットホットキーを実行します。詳細は p.36 をご参照ください。

ホットキー初期設定一覧

ホットキーの工場出荷時における各値の初期設定内容は以下のとおりです。

設定	デフォルト値
ポート切替	[Scroll Lock] [Scroll Lock]
ホットキーセッティングモード(HSM)起動	[Num Lock][-]
オートスキャンインターバル	5 秒
ビープ音	On(有効)
キーボードプラットフォーム	PC 互換
ポート切替キー	有効